

TRAVEL JAPAN

◆電子新聞「週刊NY生活デジタル版」www.nyseikatsu.comの画面でこの写真左上のアイコンをクリックするとスライドショーになります。



江戸時代の重要な財源となった佐渡金山は、当時の採掘跡の一部が一般公開されている



素晴らしい日本庭園が見渡せる豪農の館、五十嵐邸



カーブドッチの庭園で落希一郎社長(左)と筆者

NY新潟県人会
新年会鬼が島で8日(土)まで、電話番号、メールアドレスを添え1月5日(土)までに幹事宛にEメールで申し込みを。会費の支払いは、当日会場です。キャンセル受け付けは7日まで。申込み問い合わせは電話718・263・3567、小林さん ataru@niigatasake.com

3日目は佐渡島を訪問、佐渡は東京都の1.5倍の広さを誇る大きな島で、新潟市からはジェットフォイルで1時間、飛行機だと20分で行くこと。

酒、米、ワインや観光名所

新潟の魅力在海外へ



真野鶴を持つ尾畑酒造の尾畑留美子さん

新潟県では2003年10月の新潟県中越地震、昨年7月の新潟県中越沖地震2度に渡る大地震のため、実質被害はもとより風評による観光事業の激減で、甚大な経済的被害を受けた。いまだに我が家に帰れない人も多く、しかし国内外の多くの支援者のお陰で、目覚ましい復興を遂げている。現在新潟県では名産の魚沼産コシヒカリ、新潟の地酒、果物などのアメリカへの輸出促進を計画し、アメリカで物産展を開催したり、またアメリカからの観光客誘致強化を図っている。私は昨年10月、ニューヨーク新潟県人会で行った新潟県中越沖地震義捐金募集の報告を、泉田新潟県知事に行うため新潟を訪問した。その際お会いした泉田県知事、篠田新潟市長はじめ多くの関係者が、アメリカとの関係強化を考えておられることを知り、アメリカ在住の新潟

県人として大変嬉しく思った。また新潟県には多くの観光名所・史跡があり、県観光部では国内はもとより海外から多くの観光客の誘致を企画している。新潟に到着した最初の夜は、新潟日報、JR新潟県関係者、蔵元らによる歓迎会が五十嵐邸で行われた。五十嵐邸は新潟市郊外にある明治から大正時代の豪農の館で、5000坪の敷地内に西洋、和会席料理のレストラン、結婚式場を備えている。また敷地内には数多くの賞を受賞している地ビールの工場もある。(www.swanlake.co.jp)



1790年創業の酒蔵、市島酒造の入り口

最近特に注目されているのが、カーブドッチ・ワイナリーである。新潟市から車で1時間という地の利にも恵まれ、ワイナリーのヨーロッパ風の葡萄園からみられるワインは、好評を博し県内のみならず東京の有名店でも販売されている。経営者の落希さんは多才な実業家で、最近ワイナリー内に温泉も発掘したので、将来温泉に入りながら、ワインを飲めるので今から楽しみだ(www.docci.com)。

業の酒蔵で、新潟県内に97ある酒蔵の中にも輸出している。傍らでも名門の蔵である。現社長は5代目氏で、アメリカの大学で学んだ国際感覚豊かな海外市場を開拓を積極的に進めており、自社ブランドでアメリカを始め海外にも輸出している。傍らでも名門の蔵である。現社長は5代目氏で、アメリカの大学で学んだ国際感覚豊かな海外市場を開拓を積極的に進めており、自社ブランドでアメリカを始め海外にも輸出している。傍らでも名門の蔵である。現社長は5代目氏で、アメリカの大学で学んだ国際感覚豊かな海外市場を開拓を積極的に進めており、自社ブランドでアメリカを始め海外にも輸出している。

とが出来る。佐渡には江戸時代の重要な財源となつた金山がある。当時の採掘跡は一部を一般公開している。坑道内には多くの人が配置され、当時の採掘現場を再現している。坑道は年間を通じて気温と湿度が一定していることから、酒の貯蔵には最適で、この坑道を酒の保管に利用している。尾畑酒造もその一社である。毎年ロンドンで開催される、世界最大のワイン品評会の「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」では、昨年からは新しく日本酒部門が設けられ、全国から選ばれた11社と共に、新潟県では唯一尾畑酒造の真野鶴が金賞の栄誉に輝いた。真野鶴はエアール・フランスのフアーストクラスでも飲むことが出来る。